

**総合リハビリテーション事業会計の令和6年度決算がまとまりました**

長野県立総合リハビリテーションセンターの令和6年度の決算をとりまとめました。

**決算の概要**

※詳細は別紙のとおり

**○ 業務量**

障害者支援施設	入所支援利用者数	9,318人(前年度比:127.1%)
病	入院患者数	13,730人(前年度比:117.4%)
院	外来患者数	10,135人(前年度比:97.8%)

**○ 損益**

経常収益	: 1,749,589千円	(対前年度:△149,162千円)
経常費用	: 1,791,975千円	(対前年度: 44,816千円)
経常損益	: △42,386千円	(対前年度:△193,978千円)
最終損益	: △47,464千円	(対前年度:△112,249千円)

**○ 主な内容**

- ・障害者支援施設の入所者数、病院の入院患者数は、前年度より増加しており、施設収入や医業収入は前年度を上回っています。
- ・一方、新型コロナウイルス感染症の病床確保料(約2億円)がなくなったことや、職員給与費が増加したことから、損益は悪化し、最終損失を計上することになりました。
- ・入所者・入院患者数の更なる増加を図るとともに、経費の削減にも努め、経営改善を図ってまいります。

(問合せ先)

健康福祉部 障がい者支援課

総合リハビリテーションセンター担当 宮下、和田

電話 026-235-7455(直通)

FAX 026-234-2369

E-mail fuku-reha@pref.nagano.lg.jp

## 令和6年度 総合リハビリテーション事業会計 決算概要

## 1 業務量

(単位:人・%)

部門	項目	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	増減等		説明等
				A-B	A/B	
障害者 支援施設	機能訓練延べ人員	6,544	5,119	1,425	127.8	在宅復帰や復職を目的に機能訓練を行う新規利用者数の増加
	入所支援延べ人員	9,318	7,333	1,985	127.1	
病院	入院患者数	13,730	11,697	2,033	117.4	脳神経内科医の復帰に伴う脳神経内科患者数の増加
	外来患者数	10,135	10,359	△ 224	97.8	

## 2 損益

(単位:千円・%)

科目	令和6年度 決算 (A)	令和5年度 決算 (B)	増減等		説明等
			A-B	A/B	
運営事業収益	575,266	754,348	△ 179,082	76.3	新型コロナウイルス病床確保料の減(△203,079千円)
うち施設収益	98,018	74,745	23,273	131.1	利用者数の増加
うち病院収益	463,134	455,573	7,561	101.7	患者数の増加等
運営事業費用	1,747,867	1,701,142	46,725	102.7	
うち給与費	1,159,041	1,087,388	71,653	106.6	人事委員会勧告に基づく給料、賞与の増加
うち材料費	119,050	124,557	△ 5,507	95.6	薬品費等の減
うち経費	321,334	325,400	△ 4,066	98.8	光熱水費、修繕費の減
運営事業損益	△ 1,172,601	△ 946,794	△ 225,807	123.8	
運営事業外収益	1,174,324	1,144,404	29,920	102.6	
うち一般会計負担金	1,119,486	1,086,981	32,505	103.0	
運営事業外費用	44,109	46,017	△ 1,908	95.9	控除対象外消費税
経常損益	△ 42,386	151,593	△ 193,978	-	
特別利益	1,230	0	1,230	皆増	過年度損益修正益
特別損失	6,309	86,807	△ 80,498	7.3	R6: 過年度損益修正損 R5: 企業会計導入に伴う特別損失
最終損益	△ 47,464	64,785	△ 112,249	-	

千円未満は四捨五入の端数処理を行っている。

## 3 経営指標

経営指標	令和6年度	令和5年度
運営事業収支比率	32.9	44.3
経常収支比率	97.7	108.7
流動比率	261.3	247.5

経常収支比率は悪化し、100%を割り込みました(赤字決算)が、現金収支では赤字ではないため、流動比率は向上し、優良とされている200%を超えています。